探究学習｜仮説・検証・改善

対象：小学1年生〜高校3年生（学年に応じ調整）

想定人数：10〜40名 / 4〜5名で火起こし器1台 / 屋外を基本

学習目標

協働しながら課題を見つけ、仮説、実験、分析、改善を実践する。

授業の展開（90分モデル）

01	10分	どうすれば安定して火種が生まれるか問いを設定する
02	25分	グループごとに仮説と役割を決める
03	15分	1回目の火起こし実験と観察を行う
04	25分	結果を比較し、改善する条件を一つ選ぶ
05	15分	再挑戦し、学びをワークシートに記録・共有する

45分版は各工程を短縮して実施。実験・再挑戦の時間を重点的に確保します。

必要な準備物

紐切り式教材・ワークシート・水や消火用具・施設に合わせた安全マニュアル

安全上の留意事項

実施場所の火気使用許可・指導者の監督・火種と消火の管理を事前確認します。

本書は燈の授業案のサンプルです。文部科学省の公式学習指導要領ではありません。
実施前に対象学年・教科の目標・安全条件・実験内容を調整してください。